開設講習名	【選択】日本音楽入門：諸ジャンルの解説とその歴史		講　師	斎藤 完		
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市		
開　設　日	平成 30 年 12 月 2 日		時間数	6 時間	受講予定人数	30 人
受講者募集期間	平成 30 年 9 月 25 日～平成 30 年 10 月 3 日		履修認定時期		平成 31 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校教諭、中学校音楽・社会教諭、 高等学校音楽・地理歴史・公民教諭			
受講料等総額	6,000 円	（うち受講料以外の経費）				

【到達目標】
日本における音楽の歴史の流れを把握しつつ、主要な種目に関する知識を深める。

【講習の概要】
（外来→土着化）×3回＝日本音楽。
この公式を具体的に説明しつつ、日本音楽における主要な種目（雅楽、能狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎、地歌箏曲など）を、視聴覚資料を多用しながら概観する。
視聴を予定している楽曲は以下のとおり（曲の一部分のみを紹介。変更の可能性もある）。
雅楽：蘭陵王、名曽利、越天楽、越天楽今様
能狂言：鶏聟、船弁慶、安宅
人形浄瑠璃：菅原伝授手習鑑、仮名手本忠臣蔵、曽根崎心中
歌舞伎：鳴神、郭文章、勧進帳
地歌箏曲：御山獅子、六段の調べ
以上に加えて、芸の伝承現場の様子や、コラボレーション（伝統音楽と異分野の共作活動）の試みなども、現代における伝統音楽の問題として随時紹介する。

【評価の方法・評価基準】
評価の方法：筆記試験
評価基準：合格：講義の内容の基礎的な部分を理解し説明できる。
不合格：上記以外。

【テキスト・参考文献】
事前にテキスト（資料）を配布予定。

【受講者への伝達事項】
音楽に関する知識や技術は不要。